

東京の産業と教育

会の目的

本会は産業界、教育界および行政当局が一体となって相互に連絡協調し、本都における国公私立の中学校、高等学校、高等専門学校、短期大学および専修学校等の産業教育の改善・進歩をはかり、もって産業経済の自立発展に寄与することを目的とする。

東京都の産業教育について

教育庁指導部主任指導主事 出張吉訓



いま、東京の産業を支え、わが国の国際競争力を維持するため、ものづくり人材の確保・育成が喫緊の課題となっている。

普通科高校志向、高学歴志向がますます高まり、若者の製造業離れや理科離れが進んでいる。このような状況下、ものづくり人材を将来に亘り確実に確保していくことは、東京都の産業、延いては日本の発展にとって重要なことである。

戦後の日本経済の発展は、「産業教育振興法」が昭和26年に制定され、産業教育を通じて、勤労に対する正しい信念を確立し、産業技術を習得させるとともに工夫創造の能力を養い、もつて経済自立に貢献する有為な国民を育成することを目指すものであった。この法律を受けて、東京都では、「東京都産業教育振興会」を昭和30年に発足して、工業高校の増設、施設・設備の拡充を図り、急速な経済発展の担い手としての有為な人材を送り出してきた。

その後、産業構造の変化、情報化社会の進展、科学技術の発展など、社会状況が大きく変化した。また、高校進学率が上昇するとともに、生徒の多様化が進み、高校への不適応入学などの課題が生じてきた。このため、都教育委員会では、専門高校の学科改編や、第三の学科である総合学科高校の新設など、様々な高校改革を推進してきた。

現在は、ベビーブーム後の急速な生徒減少、生徒の興味・関心の多様化、多様な進路希望などにより、特に専門高校への消極的な理由による入学や大学進学を目指す生徒の増加など、生徒の多様化が一層進んできている。また、社会経済状況の変化も激しく、国際化、情報化などの一層の進展が進むとともに、産業構造の空洞化が起こってきている。また、団塊世代の大量退職時期となり、ものづくり人材の育成が急務となっている。これらの社会状況を踏まえ、都教育委員会では、進学指導に対応する専門高校、興味・関心等に応じて学べる単位制専門高校、総合学科高校の増設、東京版デュアルシステムの導入、そして、今春開校した産業高校など、社会のニーズを的確に捉え、専門高校の改善・充実を図ってきている。

今後は、専門高校において、ものづくり人材を育成していくために、教員の実践的指導力の向上、都立職業能力開発センターとの一層の連携、退職後の団塊世代の活用、ものづくり企業でのインターンシップの推進、工業高校と工業高等専門学校、首都大学東京との接続など、実践的な教育力の向上を図るための方策を企画・推進していくことが重要である。このことにより、東京の産業の競争力を高め、東京から日本を変え、延いては世界を牽引していくものと考えている。

平成19年度 総会報告

平成19年度総会が6月7日(木)に都立工芸高等学校で開催されました。来賓に(財)産業教育振興中央会専務理事 中山 淑廣 様、東京都公立高等学校長協会より、本多 吉則 様(都立江東商業高等学校長)、東京都中学校長会より、長南 裕志 様(調布市立第六中学校長)をお迎えしました。

まず、開会にあたり、西澤宏繁会長より次のような挨拶がありました。

「お忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。本会の目的は、教育現場の先生方、行政、産業界の三者が一体となって、東京の産業教育を発展させていくことにあります。教育をもう一度見直そうという動きのなかで、本会におきましても、ホームページを立ち上げようという計画が今進んでいるところであります。皆様の声をいろいろと頂戴しながら、よりよいホームページにしていきたいと思っています。本日は、本会の事業内容等について、皆様より積極的なご意見を頂戴できればと思っています。」

続いて、常任理事の新井清博学務部長より、次のような挨拶がありました。「本会は、半世紀にわたり大きな成果を上げてきました。この成果は皆様のご尽力のたまものであり、厚く御礼申し上げます。また人材育成の観点から、産業界と教育界とのパイプ役となる本会の役割は、今後、ますます重要になってくると考えています。」



はじめに、5月15日の理事会で選任された会長、副会長の選任結果と理事長、常任理事、常任監事について、次のような報告がありました。

会 長 西澤 宏繁
(株)東京都民銀行代表取締役会長)
副 会 長 久保村昭衛
(東京電販(株)代表取締役会長)
同 金子 昌男
(株)カナック企画相談役)
同 小山 実
(都立蔵前工業高等学校長)
理 事 長 中村 正彦
(東京都教育委員会教育長)
常任理事 新井 清博
(都教育庁学務部長)
同 加藤 裕之
(都教育庁学務部高等学校教育課長)
常任監事 梶 秀郎
(都教育庁学務部高等学校教育課管理係長)

次に、以下の議案が提案され、審議の結果、全議案とも原案通り承認されました。

第1号議案① 平成18年度 事業報告(案)
第1号議案② 平成18年度 決算報告(案)
第1号議案③ 平成18年度 監査報告
第2号議案 平成19年度 役員選任(案)
第3号議案① 平成19年度 事業計画(案)
第3号議案② 平成19年度 予算(案)

なお第1号議案から第3号議案までの内容につきましては、6月13日付で会員校並びに企業宛に送付しました「平成19年度総会資料」をご覧ください。

総会に引き続き行われた講演会では、講師にノンフィクション作家の山根一眞氏をお招きし、「モノづくりは科学技術のフロンティアを目指せ」という演題でご講演をいただきました。

山根氏の講演内容(要旨)につきましては、次回の会報(131号)で紹介いたします。

〈実践報告〉

衛生看護科

－ 15 歳から始まる看護師への道－

愛国高等学校 副校長 織田 奈美



昭和 13 年に愛国女子商業学校として発足した本校では、職業教育により女性の特性を活かした資格を取得し、社会においても家庭でも人々の幸福に貢献できる生徒を育成するため、昭和 41 年に衛生看護科を、次いで昭和 55 年に専攻科を開設致しました。

看護の三要素を学ぶ ー知識・技術・態度ー

生徒は入学と同時に専門教科の学習を始めます。

「知識」・・・基礎看護医学や成人・老人・精神・母子看護などについて各診療科の専門医や看護科教諭が講義や授業を行い、〈人体のしくみと働き〉を知ることにより、疾病を患った方への援助方法を学びます。

「技術」・・・患者様に対して〈安全・安楽〉な看護ができるよう、環境整備・体位変換・食事介助・バイタルサイン測定・清拭などの実技の練習を重ねます。

「態度」・・・看護教育を校訓〈親切正直〉実践の場と考え、日々の学校生活の中で誠意を以て患者様・御家族などに接するという看護倫理を育成し、美しい言葉遣いや立居振舞が身に付くよう配慮しております。

憧れのナースキャップを戴く ー戴帽式ー

2 年生の第 2 学期末には、教科と実技の内部試験を経て〈戴帽式〉が行われます。これはナースキャップを戴く儀式とキャンドルサービスとを併せたものであり、キャップの白は「純潔・博愛・高貴」の精神を表し、キャンドルはナイチンゲールの精神を継承するものです。これにより戴帽生は臨床実習に行くことを許され、看護職者としての第一歩を踏み出すこととなります。



看護の現場へ ー臨床実習・資格試験ー

戴帽式の後〈臨床実習〉が始まります。2 年生での基礎実習を経て、3 年生になると病院（精神科・産科を含む）・保育園・老人保健施設などで週 4 日 17 週間の実習を行います。患者様や症状には個別性があるため理論通りに行かずに悩むこともあります。患者様の「ありがとう」の言葉に励まされ更なる成長を遂げます。また、2 月に都道府県が実施する〈准看護師試験〉に対しては、伝統である「全員受験・全員合格」を目指して学園が一丸となってサポートしております。

卒業後の進路 ー進学そして就職ー

高等部卒業生は殆どが併設の衛生看護専攻科へ進学し、2 年間で〈看護師受験資格〉を取得し、卒業後は全員が希望通り大学病院や総合病院に就職しています。専攻科には年齢制限がなく、准看護師からステップアップしたいと思う女性には、いつでもいくつになっても勉学のための門戸を開いております。

今、この時も多くの卒業生が看護師として「いのちの現場」で活躍し、患者様の生きる支えとなっていることは私共の喜びであり、誇りとするところでもあります。

〈実践報告〉

中学校技術・家庭科

技術分野（ものづくり）の実践を通して

新宿区立牛込第三中学校 主幹 原 島 秀 夫



中学校技術・家庭科は、一人ひとりの生徒が実践的な学習活動を通して、生活を工夫し創造する能力を養うことを目的としています。

例えば、技術分野の「技術とものづくり」では、材料加工を通して生産活動の一端を体験的に理解させることによって、自らの興味や関心を拡大し特性に気付かせるという啓発的な学習経験をさせる側面をもっています。生産に関する仕組みを体験を通して知ることは、社会生活に興味を持ち始める中学生のこの時期に、産業と生活の関連を考えて自分たちの生活を見直させ、消費者としての自覚を高めるうえからも重要な教科です。

技術科教師の一人として技術科を学ぶことの大切さ、すばらしさを生徒に体験させ、生徒の意欲的な取り組みや発想を促すために、つぎのような実践を行っています。

【実践－材料加工】

1. 技術室（実習室）内の環境整備と改善

技術室とは、生徒が自由な発想で意欲的に活動できる「場」でなければなりません。着任当初、まず環境整備から着手し、明るく広い室内で作業空間の確保、効率よい作業が行えるようにするため、かなりの場所を占めた戸棚類は整理しました。生徒にとって身近な教科であるという意識を高めるため、スローガンをはじめ、新聞等からの産業技術に関する新しい情報・資料、生徒作品を豊富に提示し、興味・関心を刺激するようにしました。

その結果、生徒は「室内がとても広くなり作業しやすくなった」「今日のニュースは何かな」などと注目するようになりました。

2. 工具・機械類の整備及び設備の充実

授業は、理論・知識を踏まえた実習が中心であり、工具・機械類の充実が教科にとって最も重要です。限られた時間内で安全に、しかも進んで作業ができるようにするため、各種工具類は人数分

準備し、点検・調整を必ず行ってから貸し出します。また、最も頻繁に使用される箱万力を人数分配置し、卓上ボール盤計 10 台により、円滑に作業できる条件を整えました。全ての工具は廃材を活用して穴や溝を加工し、収納・管理してそのまま授業に出しています。実習前後のチェックは容易となり、紛失・破損状況が一目で分かるようになっていました。生徒に工具を大切に使う気持ちが生まれ、破損や紛失は全くなくなりました。

3. 学習題材

問題解決的な学習を中心とした本教科で製作する作品は、「身近な問題発見→自己課題の設定→具体的な作品のイメージ固定→アイデア→構想図→製作図→製作→まとめ」の一連の流れで進めます。設計段階では各生徒は悩み、完成作品は個性あふれるオリジナル作品が出来上がります。



生徒作品（ゲルマニウムラジオ 2台）

【今後の取り組み】

これからの社会では、技術的な問題解決能力を身に付けることが大切です。本教科は、生活体験の乏しい現在の生徒にとって重要な意義をもつ教科であると考えます。

ものをつくり出すことの「すばらしさ」「生活を豊かに変える」ことを教えることのできる教科として、生徒をさらに引きつける指導法の工夫、題材・教具の開発を一層進めていきたいと意欲を燃やしています。

株式会社 ムトーエンジニアリング

資本金：2億4千万円 代表取締役：前川 善太郎
東京都品川区西五反田 7-21-1 TEL 03-5740-8200

＜創業＞

昭和60年10月武藤工業株式会社のサービス部門から独立、情報機器の保守を開始する（東証1部上場 MUTOH ホールディングス株式会社100%出資子会社）。

現在は武藤製品以外の保守も受託し、また平成12年から計測器、平成13年から設計製図機器の製造販売を手がけ、更に今年、計測器や設計製図機器の開発力を生かし、石膏ボード加工機「プラストくん」の製造販売を開始する。

＜社員数、営業拠点＞

140名、北海道から沖縄まで全国13拠点

＜経営理念＞

お客様の声を大切にニーズとシーズを提供しあい、ベストパートナー企業として行動する。

＜主要営業品目＞

- 情報処理機器および設計製図機器の製造・販売
保守に関する業務
- 計測機器の製造・販売
- 建築資材加工機の製造・販売
- 機器の保守に関する業務

＜青年へのメッセージ＞

常に創造力を持ち、前向きに物事を考え前進し、また自らの知識を高める努力を惜しまないで欲しい。



石膏ボード加工機「プラストくん」

三和電気計器株式会社

資本金：3300万円 代表取締役：鴨下 清作
東京都千代田区外神田 2-4-4 TEL 03-3253-4871

＜創業＞

昭和16年（1941年）東京府小金井町に三和電気計器製作所として創業。昭和34年（1959年）には香港に工場を設立し、その当時、対日輸入規制を行っていた英国にテスタ（回路計）の輸出を開始しています。

＜従業員数・営業拠点＞

68名（正社員37名 パート社員31名）
大阪営業所：大阪市浪速区恵美須西 2-7-2
羽村工場：東京都羽村市神明台 4-7-15
三和メータ香港：Tsimshatsui, Kowloon, H.K.

＜事業案内＞

小型汎用電気測定器と温度・光・照度・回転などを計測する現場測定器を sanwa ブランド製品として国内市場だけでなく世界70ヶ国へ輸出しています。

＜経営理念＞

“お客様の信頼・ご満足を第一に”

電気・現場測定器でつねに進化を遂げ、世界の環境保全・エネルギー管理に貢献します。

＜主要営業品目＞

デジタルマルチメータ、アナログマルチテスタ、クランプメータ、絶縁抵抗計、光パワーメータ、レーザーパワーメータ、照度計、回転計

＜青年へのメッセージ＞

いつも矢印を自分に向けて当事者意識を忘れずに、常に危機感を持って人生を歩んでください。



デジタルマルチメータ
CD772

平成19年度 新入会員校の紹介

蒲田女子高等学校

〒144-0044 東京都大田区本羽田 1-4-1
TEL 03-3742-1511
京急空港線「糞谷駅」より徒歩7分

目標を持って、明るくのびのびとした学校

創立者である簡野道明の建学の精神『清・慎・勤』より“清く正しく健やかに”を校訓とし、明るくのびのびとした教育環境の下、自主独立の心を養うとともに、基礎学力を伸ばすことで、心身ともに健康な人間の育成を目指しています。

また国際化、情報化、高齢化など、時代の変化に対応した国際感覚豊かな人間形成にも努めています。

特色

①向上心を育て夢が広がる5つのクラス制

それぞれ必修科目を設け専門分野への進学を目指す。

<デザインクラス> デザイナーやアーティスト志望者が対象。美術系の大学進学を目指す。

<社会福祉クラス> 介護福祉士国家受験資格を取得し、福祉・看護系の大学進学を目指す。

<幼児教育クラス> 1年次より保育実習やピアノレッスンを行い、保育系の大学・短大進学を目指す。

<スポーツクラス> 様々な競技のほか、スポーツの歴史学、栄養学を学び、スポーツ系の大学進学を目指す。

<生活文化クラス> 将来のパティシエ・調理師、ファッションデザイナーを目指す。

②運動部・文化部ともに活気あふれる雰囲気

バレーボール部、バドミントン部は東京都代表で関東大会出場。チアリーディング部は総勢43名、東京都大会で敢闘賞受賞。女子硬式野球部は全国大会で活躍。吹奏楽部は金賞受賞。茶道部は地域の行事には必ず出店を要請される。



学校法人 二階堂学園 日本女子体育大学附属二階堂高等学校

〒156-0043 東京都世田谷区松原 2-17-22
TEL 03-3322-9159 (入試広報室直通)
京王線「明大前駅」より徒歩5分

明るく伸びやかな校風です。明るく積極的でボランティア精神に富んだ礼儀正しい生徒を育成することを教育目標としています。

特色ある普通科で、以下の三つのコース制を導入しています。

普通コース 体育コース 福祉コース

特に、福祉コースは、高齢化社会を迎え、専門的な知識と実践で得た技能に「優しい心」「いたわりの心」を育てることを目標としています。

<カリキュラム>

普通科の特色である、英語・国語・数学を重点に福祉系大学や保育・看護系大学にも進学できる面と看護医学・基礎介護・援助技術等の専門科目から福祉実習・ホームヘルパーなどの専門実習を取り入れています。

<施設面>

二つの福祉実習室を持ち、養護老人ホームや障

害者施設など、10以上の実習施設の協力を得ており、福祉のエキスパートを育成するには十分の環境です。

<資格取得>

ホームヘルパー2級の取得と介護福祉士受験資格の取得ができます。今年も設立以来3年連続で10人をこす介護福祉士(国家試験)合格者を出しました。卒業生は、資格取得のキャリアをもとに、福祉・看護・保育の分野はもちろん、幅広い分野へ進学をしています。



都立東久留米総合高等学校

単位制・総合学科・全日制・定時制

〒 203-0052 東京都東久留米市幸町 5-8-46
TEL 042-471-2510
西武池袋線「清瀬駅」より徒歩 15 分

今春に開校した総合学科高校です。

本校では学習指導、生活指導、進路指導の連携により、学びの意欲を育て、生徒一人一人が確かな夢を見つけ、大学等への進路実現を目指します。

【本校の特色】

1 全日制課程

①多彩な魅力選択科目

「自然科学」「人文科学」「情報ファイナンス」「スポーツ科学」「看護福祉」「美術デザイン」の6系列を設置し、学ぶ楽しさ、学び方を身につけていきます。さらに、進路実現に向けて多くの自由選択科目を用意しています。

②キャリア教育を重視した進路保証

「産業社会と人間」をはじめとするキャリア教育により、主体的に進路活動に取り組む態度を育成します。また、データに基づく組織的な指導により、進路希望の実現を図ります。

③確かな学習指導

2 学期制、50 分・週 31 時間授業により、授業時数を確保します。また、国語、英語、数学は習熟度別授業を行うとともに、年 18 回の土曜講習を実施し、学力の向上と定着を図ります。

2 定時制課程

「教養」「情報ファイナンス」の2系列を設置し、「三修制」を導入しています。



新入会員企業の紹介

株式会社ルネサス テクノロジ

資本金：500 億円 代表取締役会長 & CEO：伊藤 達
東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
TEL 03-6250-5553

<創 業>

2003 年 4 月 1 日に株式会社日立製作所と三菱電機株式会社の半導体事業を統合し、「株式会社ルネサス テクノロジ」を設立。

<従業員数・事業所・関連会社>

従業員数：26,500人

事業所：東京、群馬、茨城、山梨、兵庫、
愛媛、高知、福岡、熊本

関連会社：44社（国内；20社、海外；24社）

<企業理念>

ルネサス テクノロジは、世界中の人々の生活のいたるところで存在することで、安心・快適・夢を支え続けます。

<事業内容>

マイコン・ロジック・アナログ等のシステム LSI 製品、ディスクリート半導体製品、SRAM 等のメモリ製品の開発、設計、製造、販売、サービスの提供。

<特筆事項>

全国工業高等学校長協会が主催するジャパンマイコンカーラリーの活動を支援させていただいて今年で 13 年目を迎えました。これからもジャパンマイコンカーラリーを通じ、企業の社会的責任の一環として未来の技術者育成に努め、若者の創造力と可能性を広げるサポーターとして応援し続けます。



広報モニターの導入について

本会が発行する「会報」や「会誌」等についての意見や要望等を集約し、今後の広報活動（情報連絡）の改善・充実に役立てることを目的として広報モニターを導入することになりました。

モニターには、学校会員（中学校・高校・高専・専修・短大）および企業会員の中から20名の方々に、お願いすることになります。

「生徒作文コンクール」作文募集中

- 作文の内容：各専門教科の学習を通して学んだこと。職場体験、ボランティア活動を通して学び得た人生観・職業観。自己の将来に対する考え方、心構え等について述べたもの。
- 応募方法：400字詰め原稿用紙で1400字以上2400字以内、縦書きとする。
- 応募期限：平成19年9月20日。詳細については6月12日付けで各学校に「募集要項」等を送付してありますのでご覧ください。

「夏休み工作スタジオ」のご案内

小中学生ものづくり教育の展開に係る事業として、小中学生にもものづくりの面白さや達成感を体験させるとともに、工業高校への進学やものづくり分野の学習を動機づけることを目的とする。

- 対象 小学生低学年、小学生高学年、中学生
- 主催 教育庁指導部高等学校教育指導課

	会 場 校	問い合わせ	開 催 日	参加費用
1	都立小金井工業高等学校	042-381-4141	7/27,28,29	2000円
2	都立北豊島工業高等学校	03-3963-4331	8/24,25,26	2500円
3	都立足立工業高等学校	03-3899-1196	8/22,23	2500円
4	都立葛西工業高等学校	03-3653-4111	8/18,19,24,25,26	2000円、2500円
5	都立総合工科高等学校	03-3483-0204	8/28,29,30	2000円
6	都立工芸高等学校	03-3814-8755	7/26,27,30,31,8/21,22,23,24	1500円、2500円

* 各開催場所で、工作テーマがいくつか別れています。またテーマにより開催日時、対象学年、参加費用も異なっています。詳しくは、各会場校もしくは教育庁指導部高等学校教育指導課（TEL 03-5320-6845）へお問い合わせください。

事務局より

○ 本会は産業界、教育界および行政の三者が一体となり相互の理解を深め、協力しあって有意な職業人の育成を図ることを目的としています。

本会の事業運営に必要な経費は会員皆様方の会費より運営されています。この主旨にご賛同いただき、より多くの方々に会員ご紹介をお願いいたします。

発行 東京都産業教育振興会
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1
東京都教育庁学務部高等学校教育課内
電話 03-5320-6729
Fax 03-5388-1727
印刷 有明印刷株式会社

 古紙配合率100%再生紙を使用しています